

カキの幼苗接ぎ木苗等を利用した 大苗育成・密植による早期成園化

技術の概要

幼苗接ぎ木苗を1～2年間ポットで育成し、大苗として定植することで、植え傷みが軽減され早期多収が可能になります。



幼苗接ぎ木苗



ポットで
1年間育成



2年生大苗

育成した大苗を密植栽培することで
早期多収、早期成園化を図る



期待される効果

- ◆ 2年生ポット苗の定植で**植え傷みが軽減**→定植後の**枯死率は慣行苗の1 / 6に減少**
- ◆ **大苗を密植栽培すると早期成園化が可能**→定植2年後の樹冠の大きさは、**2年生大苗で慣行苗の5.4倍**
- ◆ 大苗は定植年または定植2年目から**収穫可能**→**早期多収**

【お問い合わせ先】

果樹園の早期成園化を可能とする実証研究コンソーシアム

研究代表機関 福島県農業総合センター果樹研究所

栽培科 (TEL 024-542-4191 FAX 024-542-4749)

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/37201a/>